

# 令和5年度 御用聞き便 報告書

令和5年8月

- 1 目的 : 市内企業の声を集め、よりニーズにあった施策を行うための情報を収集する
- 2 方法 : 御用聞きシートを郵送し、FAXにて回答を受ける (記名式)
- 3 発送日 : 令和5年6月1日 (木)
- 4 送付先 : 937 社 ※未着を除いた実数
- 5 集計日 : 令和5年7月31日 (月)
- 6 回答数 : 106 社 (回答率 : 11.3% ) ※令和4年度92社(9.9%)
- 7 訪問等数 : 20 件 ※訪問、電話等で御用聞きを実施した数

## 【企業規模別】

企業規模	大企業	16社
	中小企業	90社
	うち小規模企業	34社
計		106社

※ 企業規模の区分は、次のとおり。

(1) 大企業 (2) 中小企業の基準を超える企業

(2) 中小企業

ア 製造業、その他の業種：資本金等3億円以下又は常時使用する従業員の数300人以下

イ 卸売業：資本金等1億円以下又は常時使用する従業員の数100人以下

ウ 小売業：資本金等5000万円以下又は常時使用する従業員の数50人以下

エ サービス業：資本金等5000万円以下又は常時使用する従業員の数100人以下

(3) 小規模企業

ア 製造業、その他の業種：常時使用する従業員の数20人以下

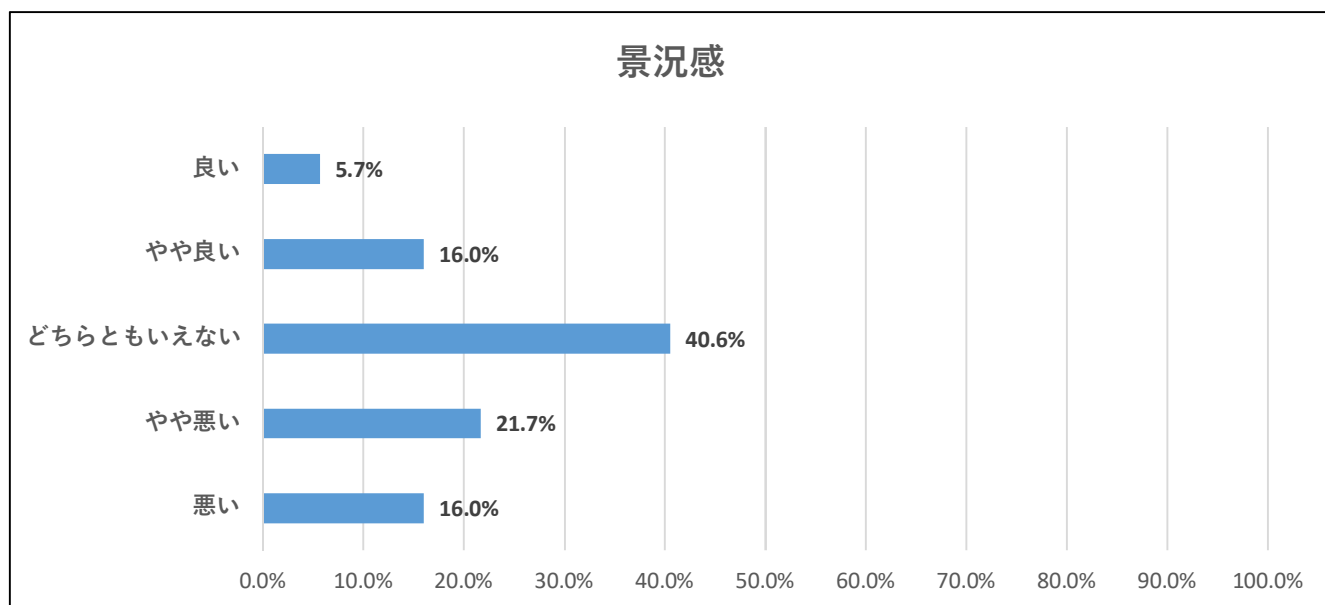
イ 卸売業、小売業、サービス業：常時使用する従業員の数5人以下

## 【業種別】

		全体	(内訳)		
			大企業	中小企業	うち小規模
業種	製造業	32	7	25	9
	運輸業	7	1	6	0
	建設業	29	0	29	19
	卸売業	8	2	6	0
	小売業	11	3	8	3
	サービス業	11	0	11	1
	その他	8	3	5	2
計		106	16	90	34

## Q 1 (1) 景況感について

選択肢	回答数	割合 (/n)
良い	6	5.7%
やや良い	17	16.0%
どちらともいえない	43	40.6%
やや悪い	23	21.7%
悪い	17	16.0%
計	106	
全体の回答者数 (n)	106	

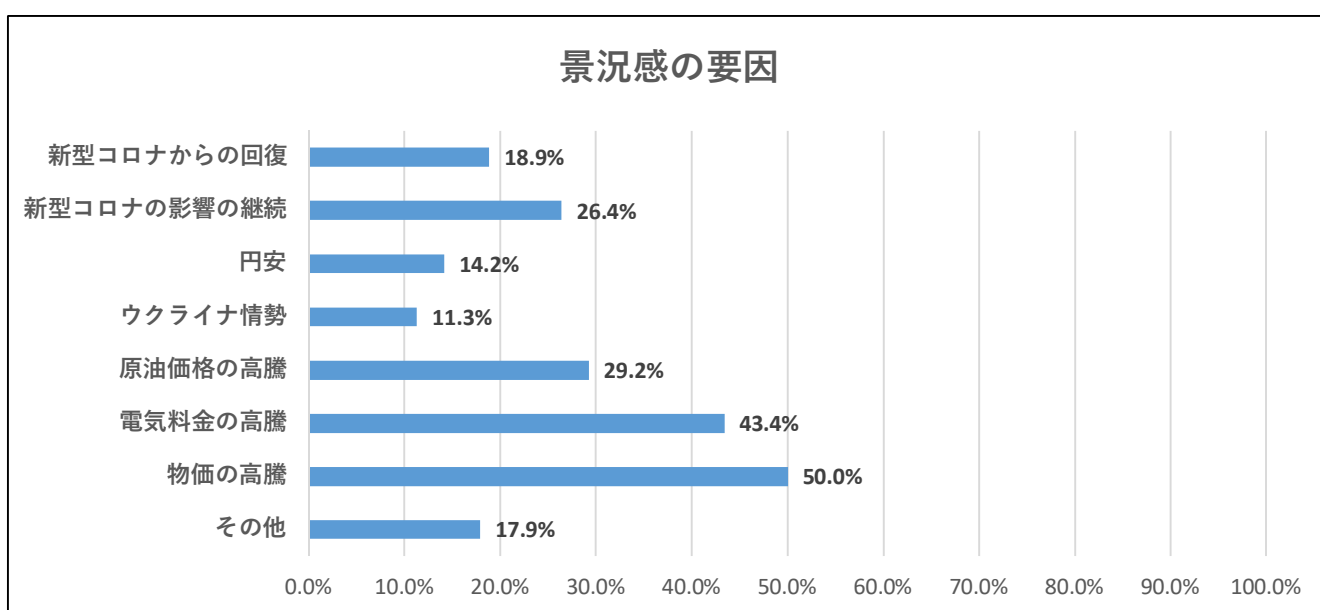


「悪い」「やや悪い」を合わせると37.7% (45.1%) であり、「良い」「やや良い」を合わせた21.7% (9.9%) を上回っている。  
前年度と比較すると数値は良化してしているが、市内企業の景況感は依然として悪い状況であると言える。

※ ( ) 内は前回調査 (R4.8) の値、以下同様

## Q 1 (2) 景況感の要因

選択肢 【複数回答可】	回答数	割合 (/n)
新型コロナからの回復	20	18.9%
新型コロナの影響の継続	28	26.4%
円安	15	14.2%
ウクライナ情勢	12	11.3%
原油価格の高騰	31	29.2%
電気料金の高騰	46	43.4%
物価の高騰	53	50.0%
その他	19	17.9%
計	224	
全体の回答者数 (n)	106	

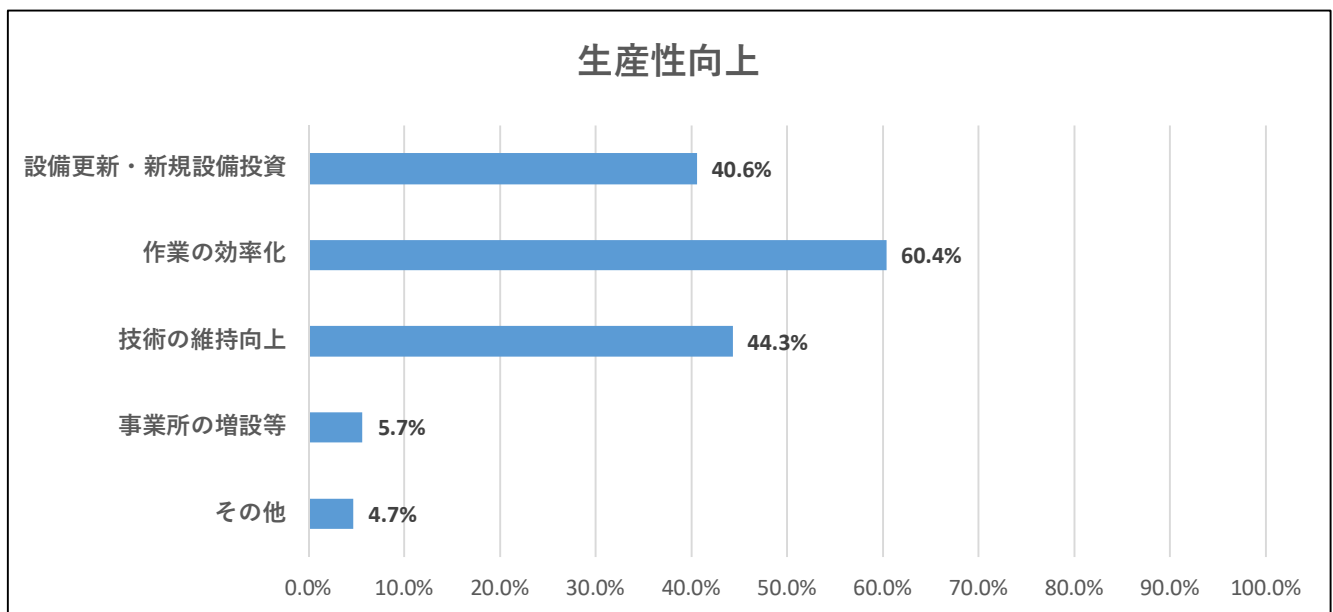


「物価の高騰」が50.0% (55.4%)、「電気料金の高騰」が43.4% (－) となっており、景況感の悪化を招いている。  
また、「新型コロナの影響の継続」が26.4% (63.0%) と、前回調査から改善している。

## Q2 今後取り組みたいことについて

### (1) 生産性向上

選択肢【複数回答可】	回答数	割合 (/n)
設備更新・新規設備投資	43	40.6%
作業の効率化	64	60.4%
技術の維持向上	47	44.3%
事業所の増設等	6	5.7%
その他	5	4.7%
計	165	
全体の回答者数 (n)	106	

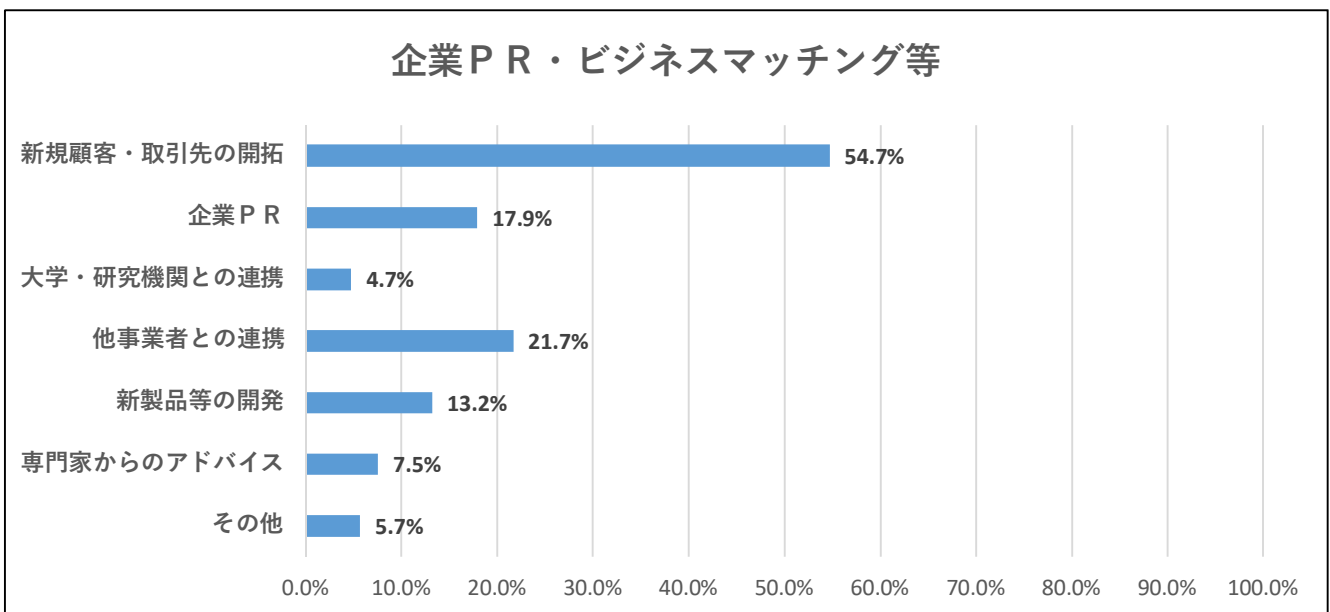


「作業の効率化」60.4% (43.5%)、「技術の維持向上」44.3% (31.5%)、「設備更新・新規設備投資」40.6% (37.0%)の順であるが、いずれも回答数が多く、生産性向上への関心の高さがうかがえる。

業種別に見ると、「作業の効率化」は全業種で割合が高かったものの、「設備更新・新規設備投資」は「製造業」「サービス業」「その他」の割合が、「技術の維持向上」は「製造業」「建設業」の割合がそれぞれ高く、業種によって差があった。

## (2) 企業PR・ビジネスマッチング等

選択肢【複数回答可】	回答数	割合 (/n)
新規顧客・取引先の開拓	58	54.7%
企業PR	19	17.9%
大学・研究機関との連携	5	4.7%
他事業者との連携	23	21.7%
新製品等の開発	14	13.2%
専門家からのアドバイス	8	7.5%
その他	6	5.7%
計	133	
全体の回答者数 (n)	106	

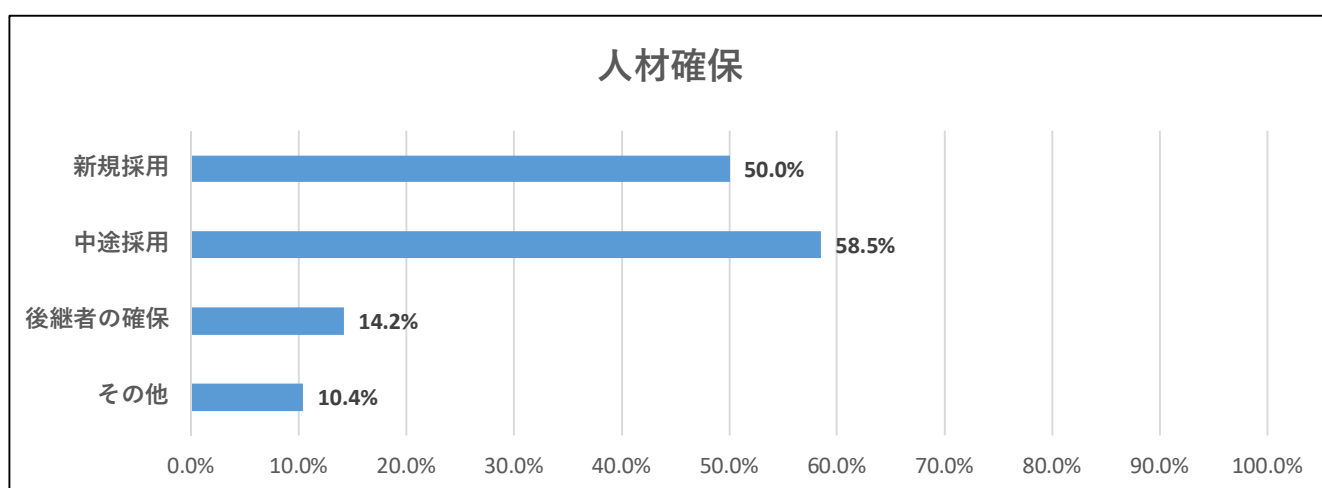


「新規顧客・取引先の開拓」が54.7%（45.7%）と最多となっている。特に規模別では「中小企業」が57.8%と「大企業」の37.5%に比べ回答率が高く、中小企業のビジネスマッチングへの関心の高さがうかがえる。

### Q3 現在困っていることについて

#### (1) 人材確保

選択肢 【複数回答可】	回答数	割合 (/n)
新規採用	53	50.0%
中途採用	62	58.5%
後継者の確保	15	14.2%
その他	11	10.4%
計	141	
全体の回答者数 (n)	106	

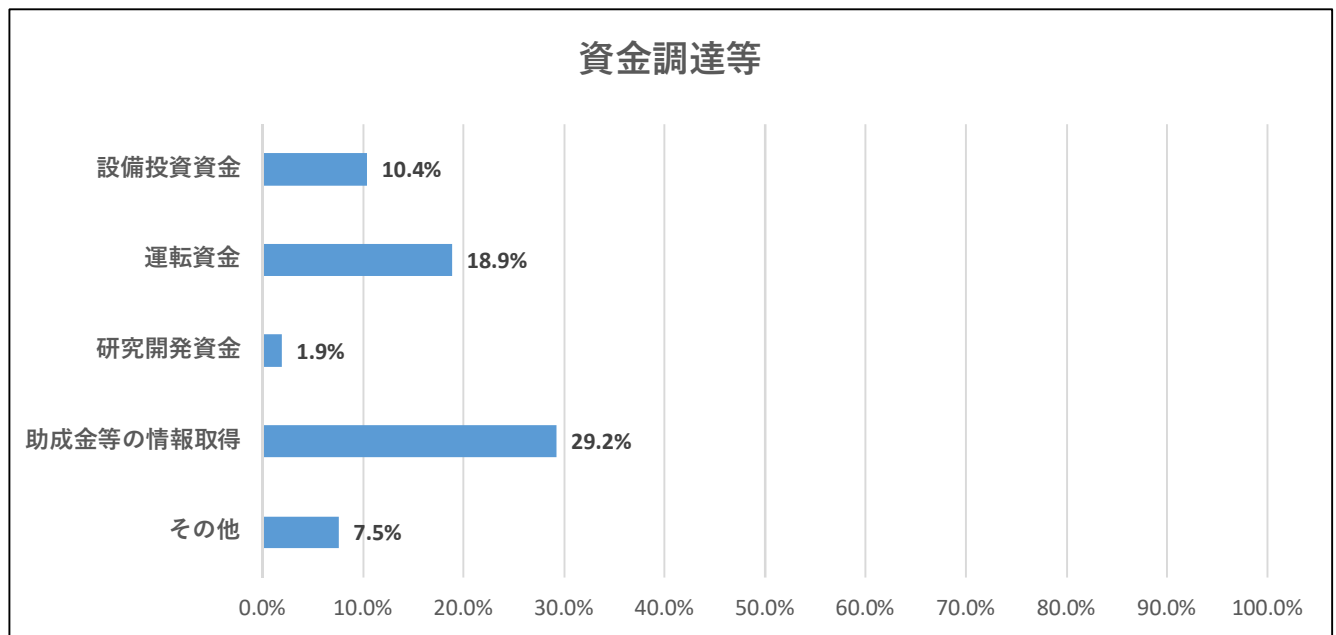


「新規採用」が50.0% (51.1%)、「中途採用」が58.5% (63.0%) と多くの企業が回答しており、人材確保が課題となっていることがうかがえる。

特に、規模別では「新規採用」は「大企業」が62.5% (中小企業は47.8%)、「中途採用」は「中小企業」が62.2% (大企業は37.5%) と高く、企業規模によって差があった。

## (2) 資金調達等

選択肢 【複数回答可】	回答数	割合 (/n)
設備投資資金	11	10.4%
運転資金	20	18.9%
研究開発資金	2	1.9%
助成金等の情報取得	31	29.2%
その他	8	7.5%
計	72	
全体の回答者数 (n)	106	



「助成金等の情報取得」が29.2% (27.2%) と最多となっている。  
また、業種別にみると「助成金等の情報取得」と「運転資金」の「サービス業」が多かった。